PLATO GOLD

TSX.V:PGC
FSE:4Y7

世界中の有名な鉱山地帯における金属資源探査

2021年1月

免責事項

会社案内である本資料には、適用される証券取引法で言うところの「将来の見通しに関する記述」が含まれています。例えば、鉱化や資源の可能性、探鉱結果、利益を生む鉱物が集中していれば操業費用が相殺される可能性、将来の計画・目標に関する記述があげられますが、これらに限定されるものではありません。これらの将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確実性、その他の要因の影響を受けるため、実際の事象や結果が将来の見通しに関する情報に記載された予測と大幅に異なる可能性があります。見通しに関する記述とは異なる結果をもたらしたり、その実現を妨げたりする可能性があるリスクとしては、採鉱費および選鉱・製錬費の変動、資本コストの増加、今後の作業計画の時期・内容、ボーリングに基づく地質学的解釈（より詳細な情報が得られた場合に解釈が変わる可能性がある）、限定的な試験作業や類似していると思われる鉱床との比較（さらなる試験作業により比較できない可能性がある）に基づいて想定される選鉱・製錬方法および鉱物回収の見込み、選鉱・製錬方法を試した結果成功しない可能性があり、成功した場合であっても、想定したほどの経済的およびその他の成果が得られない可能性がある、労働力／資機材／産出品市場の確保、当社鉱区における採鉱の採算性が確保できなくなる、あるいは必要な許認可が取得できなくなるような条件の変化、などが考えられますが、これらに限定されるものではありません。当社の経営陣は、実際の結果が将来の見通しに関する記述内容と大幅に異なる原因となりうる重要な要因の特定に努めましたが、予想、推定、意図した通りではない結果をもたらす要因が他にもある場合があります。実際の結果や将来の事象がかかる記述の想定内容と大幅に異なる可能性があることから、かかる記述が正確な結果となることは保証できません。従って、読者は、将来の見通しに関する記述を過度に信頼してはなりません。本資料中の将来の見通しに関する情報は、作成日時点の情報です。また、当社は、法の定めがない限り、かかる情報を更新・変更して新たな事象や状況を反映させる責任を負いません。
Clark Exploration Consulting社のGarry Clark氏（P. Geo.＝地球科学技術者）は、カナダの探鉱プロジェクト情報開示基準NI 43-101に定められている「有資格者」で、本資料の技術的内容のレビューおよび承認を行いました。

子供が闇を恐れるのは無理もない。
大人が光を恐れる時、本当の悲劇が訪れる。

プラトン（428～348 B.C.）

Plato Gold Corp.について

TSX.V:PGC
FSE:4Y7

Plato Gold Corp.（TSXベンチャー取引所：PGC、フランクフルト証券取引所：4Y7）は、探鉱・開発を行う新興企業で、以下のプロジェクトに注力しています。

金
ティミンズ・ゴールド・プロジェクト（カナダ、オンタリオ州）
ロリータ・プロジェクト（アルゼンチン、サンタクルス州）

パラジウム
ピックリバーPGMプロジェクト（カナダ、オンタリオ州）

ニオブ
グッドホープ・プロジェクト（カナダ、オンタリオ州）

経営陣

TSX.V:PGC
FSE:4Y7

社長兼最高経営責任者　Anthony J. Cohen

不動産関連の上場企業、Gulf & Pacific Equities Corp.の設立者、社長兼最高最高経営責任者でもあります。
また、エネルギー、不動産、アグリビジネス関連の非公開会社であるGendis Inc.の取締役も務めています。過去には、国際的な石油・ガス企業であるChauvco Resources Ltd.の取締役を務めていた経験もあります。クレイトン大学（ネブラスカ州オマハ）において学士号（経営学）を取得。

最高財務責任者　Greg Wong

ブリティッシュ・コロンビア大学において、応用科学学士号（BASc）（土木工学）と経営学修士号（MBA）を取得。現在、Gulf & Pacific Equities Corp.の取締役兼最高財務責任者も務めています。

取締役会

TSX.V:PGC
FSE:4Y7

取締役　Anthony J. Cohen

取締役　James Cohen

商業不動産管理のほか、エネルギー事業、アグリビジネスを行っている企業、Gendis Inc.の社長兼最高経営責任者です。元子会社、SAAN Stores Ltd.／Red Apple Storesの売却プロセス中の2004年には、同社の社長も務めていました。現在、マニトバ博物館理事会の理事長およびウィニペグ交響楽団理事会の理事も務めており、これまでには、カナダ・ロイヤル・ウィニペグ・バレエ団の理事会に10年間在籍し、理事長を務めた経験もあります。さらに、カナディアン・フットボール・リーグのウィニペグ・ブルーボマーズ、ウェストエンド・カルチャー・センター、Tundra Oil and Gas Ltd.の役員を務めたほか、マニトバ大学アスパー・スクール・オブ・ビジネスのアソシエートでした。ウィニペグのセントジョンズ・レイヴンズコート・スクールを卒業し、ウェスタンオンタリオ大学で政治学の文学士号を、ミュージシャンズ・インスティチュート（カリフォルニア州ハリウッド）で卒業証書を取得しています。

取締役　J. J. Elkin

国際的に活動する起業家、投資家で、多数の公開・非公開会社において取締役や最高経営責任者を務めてきました。代表的な活動分野としては、ポートフォリオ資金管理、不動産、製造業、鉱業があげられます。ハーバード・ビジネス・スクールでMBAを取得。CFA協会認定証券アナリスト。

取締役　Peter Hubacheck

コンサルティング地質学者であるHubacheck氏は、W. A. Hubacheck Consultants Ltd.の社長を務めています。プロジェクト地質学者や探鉱責任者として、また、NI 43-101に定められる「有資格者」として、40年以上の経験を有しており、カナダおよび米国において金、銀、ベースメタル、ウラン、ダイヤモンドの探鉱経験があります。ハイレイベリー・スクール・オブ・マインズ・アンド・テクノロジー（オンタリオ州ハイレイベリー）にて鉱山技師のディプロマ（1974年）を、サウスダコタ・スクール・オブ・マインズ・アンド・テクノロジー（サウスダコタ州ラピッドシティ）にて応用科学学士号（BASc）（地質工学、1977年）を取得しています。1996年から1998年まではAgnico-Eagle Mines Ltd.（トロント証券取引所：AEM）の取締役を、2004年から2006年まではContact Diamond Corporation（Stornoway Diamond Corporationにより買収）の取締役を務めていました。また、2008年から2013年にかけてはSheltered Oak Resources Corp.（TSXベンチャー取引所：OAK）（Foundation Resourcesにより買収）の取締役も務めました。

会長兼取締役　John H. Paterson

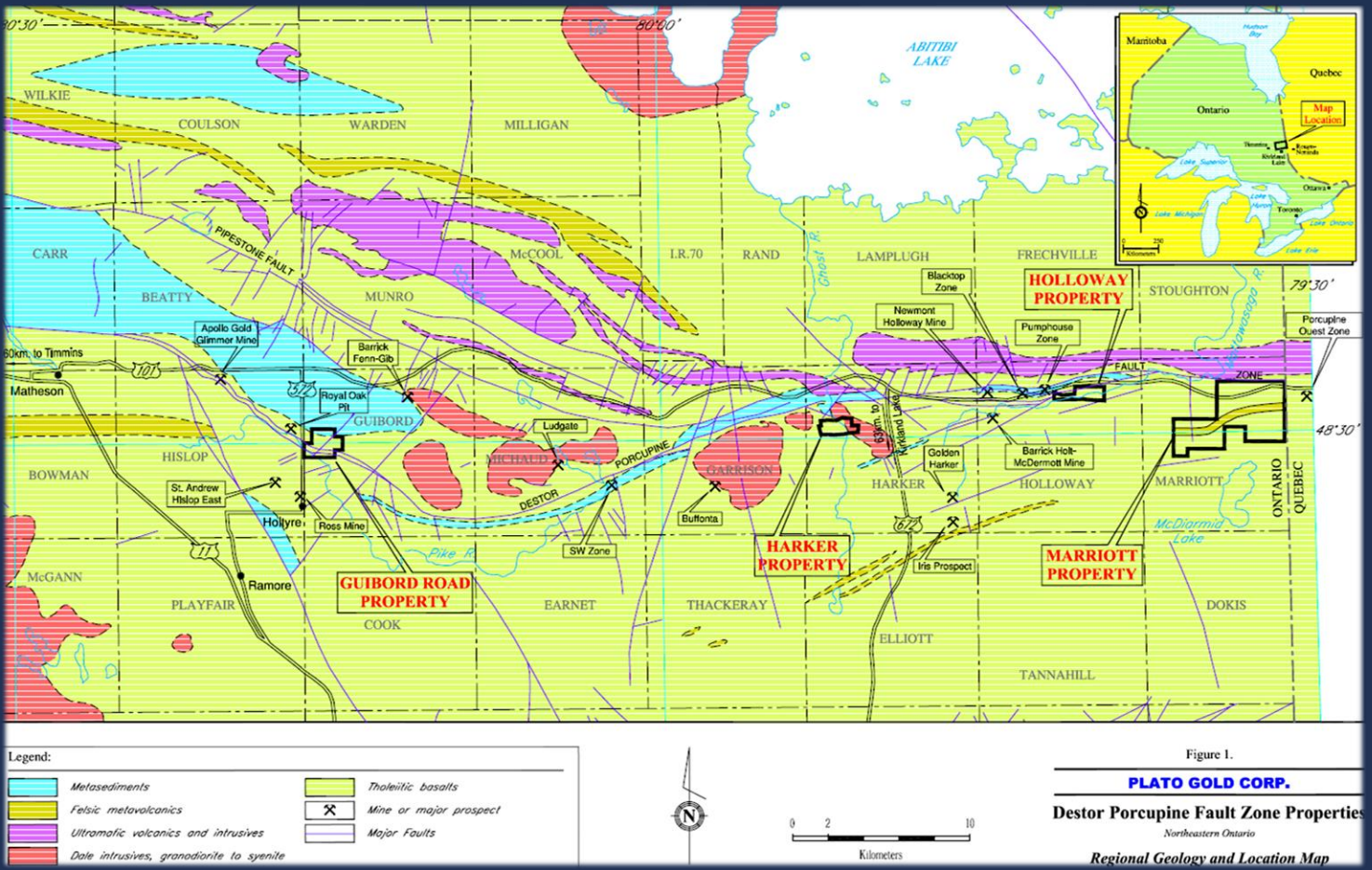
鉱業関連の大手企業／新興企業で蓄積した豊富な経験を有しています。プロのエンジニアであるPaterson氏は、多くの鉱業・探鉱企業の役員を務めてきました。2002年から2007年まで、Aurogin Resources Ltd.（「Aurogin」）の社長兼最高経営責任者を務めていました。エルサストレ金鉱山を開発した同社は、その後、Morgain Mineralsと合併し、Castle Gold Corp.となりました。Aurogin入社前の1991年から2001年にかけてはGeomaque Explorations Ltd.の社長兼最高経営責任者を務め、サンフランシスコ金鉱山（メキシコ、ソノラ州）とブエルタス・デル・リオ金鉱山（ホンジュラス）の2つのヒープリーチング操業による金鉱山の開発を指揮しました。クイーンズ大学（オンタリオ州キングストン）にて、理学士号（工学）と理学修士を取得しています。

ティミンズ・ゴールド・プロジェクト

ギボール（Guibord）、ハーカー（Harker）、ホロウェイ（Holloway）、
マリオット（Marriott）

TSX.V:PGC
FSE:4Y7

Plato Goldは、カナダ、オンタリオ州イーストティミンズのティミンズ・カークランドレイク地区（鉱物資源が豊富なアビティビ・グリーンストーン・ベルトの西側部分）の4か所において、ゴールド・プロジェクトを行っています。



ホロウェイ鉱区とマリオット鉱区は、当社が100%所有しています。

ギボール鉱区については、権益の50%を当社が、残りの50%をOsisko Mining Inc.が保有しています。

また、Osisko Mining Inc.はハーカー鉱区の権益の80%も保有しており、残りの20%を当社が保有しています。

ティミンズ・ゴールド・プロジェクト

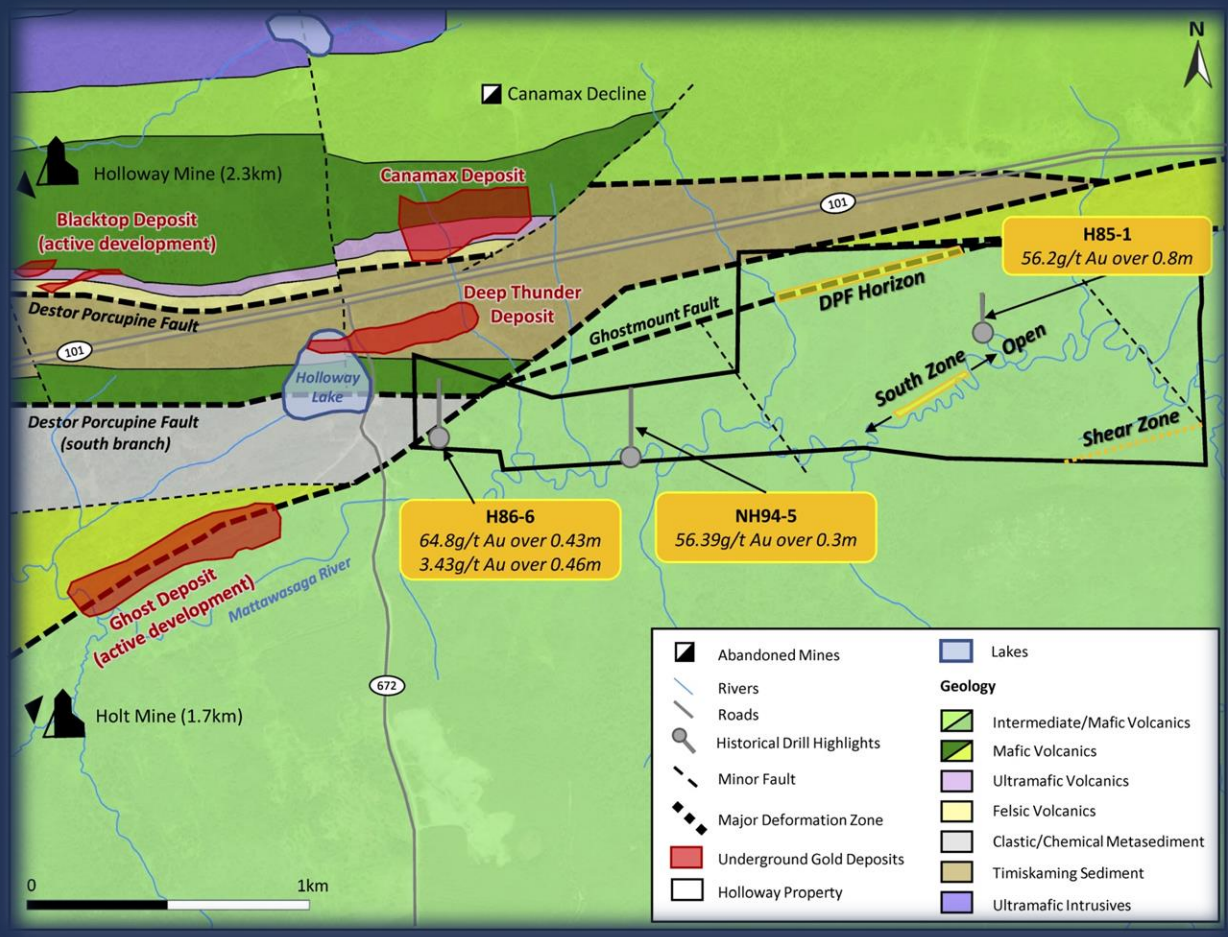
ホロウェイ鉱区（100%の権益を保有）

TSX.V:PGC
FSE:4Y7

ホロウェイ鉱区は、ラーダーレイク鉱区（Larder Lake Mining Division）内にあり、156ヘクタールの面積を占めています。ホルト鉱山（Holt mine）の立坑の北東1.7 km、ホロウェイ鉱山（Holloway mine）の東2.3 kmの場所に位置しています。

1980年代と1990年代に行われたボーリング調査により、複数の変質帯が見つかりました。その特徴は、2～3m幅の間隔、様々な度合いの珪化、絹雲母化、炭酸塩化、黄鉄鉱化です。**H-85-1号孔**で切り出された1カ所の変質帯は、強い珪化作用を受けた狭い部分で、**金品位が56.2 g/t（幅0.8m）**でした。
また、**H-86-6号孔**の角礫部分は**金品位が64.8 g/t（幅0.42m）**、**NH-94-5号孔**の角礫化した石英・アンケライト鉱脈部分は、**金品位が52.4 g/t（幅0.3m）**でした。

ゴーストマウント（Ghostmount）断層延長部（ホルト鉱山東側、ホロウェイ鉱区方向）において、Kirkland Lake Gold Inc.が積極的にボーリング調査を行っています。また、過去には、Newmontがホロウェイ鉱区内とその西側隣接地でボーリング調査を行いました。当社は、ゴーストマウント断層延長部およびディープサンダー（Deep Thunder）鉱床の区域の深部が金鉱化作用を受けている可能性が高いと考えています。



ティミンズ・ゴールド・プロジェクト

マリオット鉱区（100%の権益を保有）

TSX.V:PGC
FSE:4Y7

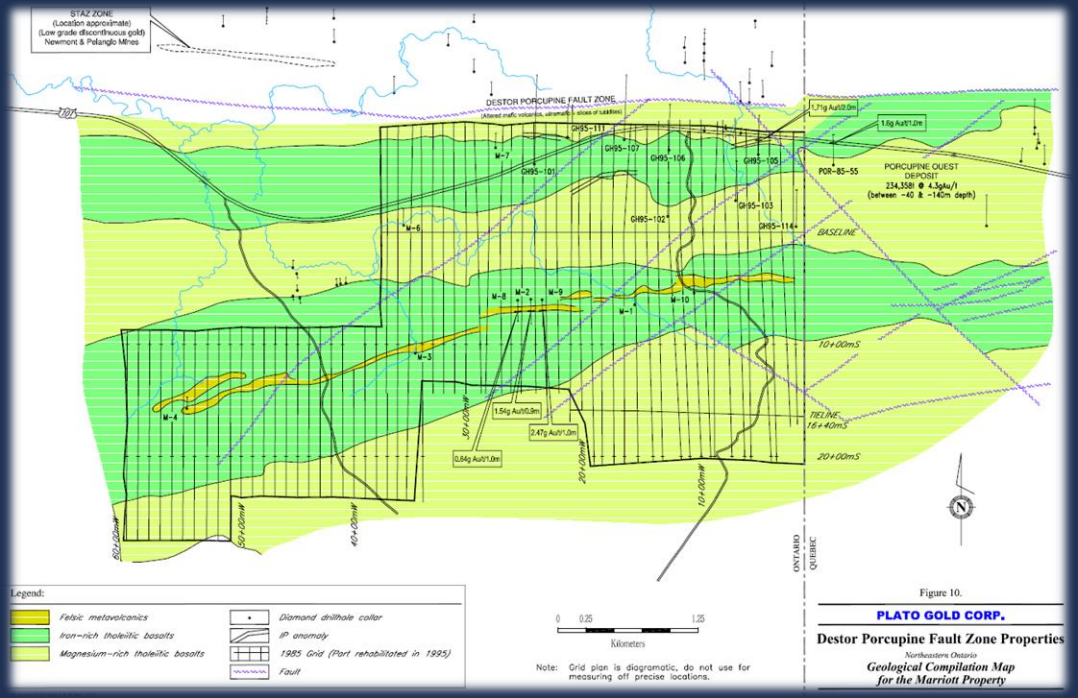
これまでのボーリング調査は、主として、鉱区全体に広がる珪長質火山岩／チャート層と強制分極（IP）異常帯に焦点を当てたものでした。**M-9号孔で**は、金品位0.41 g/t（幅9.5 m）の大きな断面の一部に**金品位2.47 g/t（幅1.0 m）**の部分がありました。M-2号孔とM-8号孔では、金品位がそれぞれ1.54 g/t（幅0.91 m）、0.64 g/t（幅1.0 m）でした。

1994年にHemlo Goldがボーリング調査を行ったGH95-105号孔で見つかった**断面（幅2m）の金品位は1.71 g/tで、IP異常と関連していました。**

1997年、2004年、2005年に、当社は、探鉱のターゲットを特定するため、IP調査を実施しました。その結果、多数の異常帯が明らかになりました。

当社が2005年に行ったダイヤモンドドリル・プログラムは、11か所で深さ2,858mにおよぶ採掘を行うというものでした。MP-01号孔では、深さ185.3～186.3mにおいて金品位1.86 g/t（幅1.0m）の部分が見つかりました。この断面は、MP-01号孔の東200 mに位置するGH95-105号孔と同じゾーンの延長部に当たると思われ、IP異常と密接に関連しています。

MP-10は、マリオット鉱区の北西隅、デストール・ポーキュパン断層帯（Destor Porcupine Fault Zone）隣接地に位置し、深さ211.8～212.8mにおいて金品位2.4 g/t（幅1.0m）の部分が、深さ222.3～223.2mにおいて金品位5.14 g/t（幅1.0m）の部分が見つかりました。



ティミンズ・ゴールド・プロジェクト

ギボール鉱区（50%の権益を保有）

TSX.V:PGC
FSE:4Y7

ギボール鉱区は、McEwen Mining Inc.が所有・操業するブラックスフォックス（Black Fox）鉱山など、いくつかの採掘中の金鉱山やかつての金鉱山に囲まれています。

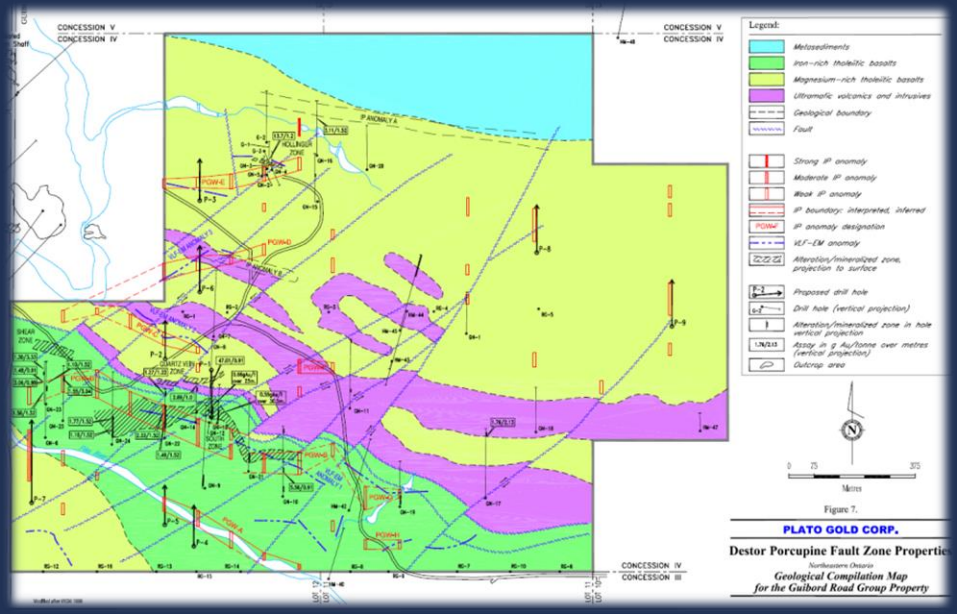
探鉱は、これまで、ポーキュパイン変堆積岩帯とストートン・ロックモール群衆帯（Stoughton-Roquemaure Assemblage）とが接する地域のすぐ南側に位置する**ノースゾーン（North Zone）**と、破砕ゾーン（Shear Zone）、サウスゾーン（South Zone）、石英鉱脈ゾーン（Quartz Vein Zone）または石英炭酸塩岩鉱脈ゾーン（Quartz Carbonate Vein Zone；QCVZ）と呼ばれる金を含有する一連の変質帯を主にターゲットとしてきました。

ノースゾーンが初めて特定されたのは1964年です。G-1号孔からは、**金品位8.22 g/t（幅2.13m）**の部分が見つかりました。うち、**幅1.22mは金品位が13.7 g/t**です。

サウスゾーンにおいて最も良い鉱化帯は、隣接する2箇所の孔から見つかっています。
GN-13号孔は、深さ10.3～40.8m（幅30.5m）の平均金品位が0.59 g/tで、金品位1.34 g/t（幅1.52 m）の部分が含まれています。
GN-12号孔は、幅23mの平均金品位が0.66 g/tで、金品位1.77 g/t（幅4.97 m）の部分が含まれています。

2005年に実施したプログラムでは、QCVZにかなり幅の広い半連続的な石英炭酸塩岩鉱脈複合岩体および硫化物鉱化帯が含まれており、金品位面で有望であることが明らかになりました。このゾーンは、断層の走向長さが450mを上回ると合理的に予測され、場合によっては800mを上回る可能性も高く、実幅は最大約70mです。

GP-01号孔は、深さ178.0～183.0mの幅5mの平均金品位が2.74 g/tでした。ある1mのサンプルは6.6 g/t、別の2つのサンプルも2.6 g/tを上回っていました。GP-01号孔の東150 mにあるGP-12号孔でも、同じゾーンが見つかっています。深さ137.0～142.0 mの5m区間の金品位は2.40 g/tで、中には5.25 g/tのサンプルも1つありました。



ティミンズ・ゴールド・プロジェクト

ハーカー鉱区（20%の権益を保有）

TSX.V:PGC
FSE:4Y7

ハーカー鉱区は、Osisko Mining Inc.が権益の80%を保有しており、残りの20%を当社が保有しています。

同鉱区は、Osiskoが所有するジョンポル・ギャルソン（Jonpol Garcon）金鉱床のすぐ南に位置しています。

ハーカー鉱区において金品位が最高値である部分はNH-85-1号孔から見つかっています。閃長岩の1cmの割れ目に金が含まれていることが目視で確認でき、金品位は14.6 g/t（幅0.43m）でした。

NH-86-3号孔の深さ47.8mにおいても、目視で確認できる金が石英細脈内に散在する黄鉄鉱とともに見つかっています。

最良の鉱化帯が見つかったのは**NH-86-6号孔で、金品位は2.55 g/t（幅3.90m）でした。隣接するNH-86-7号孔では、金品位1.37 g/t（幅6.22 m）の部分が見つかっています。**

ロリータ鉱区（アルゼンチン、サンタクルス州）

（95%の権益を保有）

TSX.V:PGC
FSE:4Y7

Plato Goldは、アルゼンチン法人であるWinnipeg Minerals S.A.（「WMSA」）の95%の権益を保有しています。同社は、ロリータ鉱区（面積9,672ヘクタール）と呼ばれる金・銀が埋蔵している可能性が高い地域に点在している鉱山の鉱業権を多数保有しています。

ロリータ・プロジェクトは、デセアド山塊のジュラ紀岩石に含まれる、地質学的に豊富な金属を産出する地域、ロリータ南部で進められています。その他の企業が所有している隣接する探鉱区には、かなりの卑金属・貴金属鉱脈系が存在しています。

サンタクルス州では、過去25年にわたり、鉱業が活況を呈し、発展してきました。現在操業中の金銀鉱山としては、以下があげられます。

- セロ・バングアルディア（Cerro Vanguardia）鉱山、AngloGold Ashanti/Fomicruz
- サンホセ（San Jose）鉱山、Hochschild Mining PLC/McEwen Mining
- マルタ（Martha）鉱山、Patagonia Gold
- マナティアル・エスペホ（Manatial Espejo）鉱山、Pan American Silver

近年さらなる発見が相次ぎ、ここ数年間で、Yamana Gold および Newmont が新たな金・銀鉱山としてセロ・モロ（Cerro Moro）鉱山、セロ・ネグロ（Cerro Negro））鉱山を開山しました。

ロリータ鉱区（アルゼンチン、サンタクルス州）

（95%の権益を保有）

TSX.V:PGC
FSE:4Y7

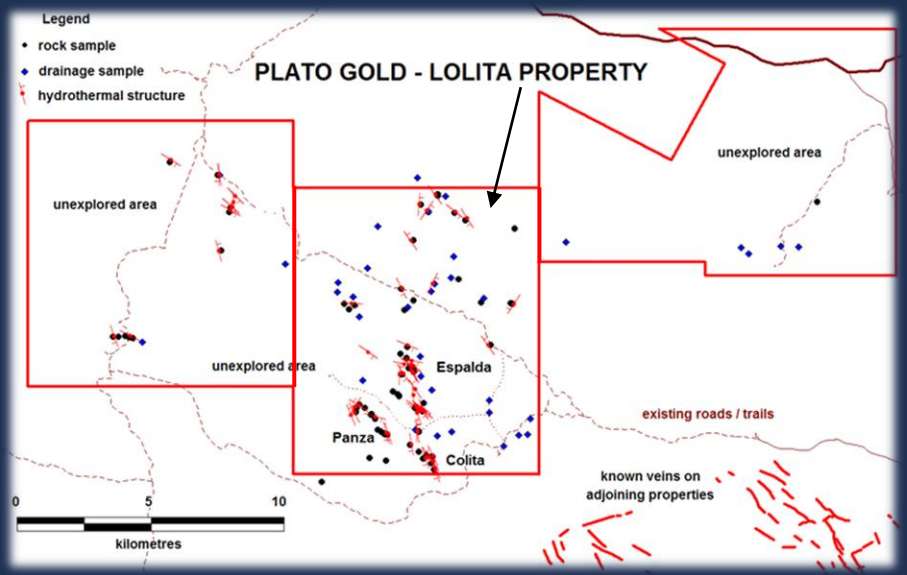
ロリータ鉱区の隣接地で行われ、Austral Gold Limitedが保有するピングイノ・プロジェクト（Pinguino Project）では、亜鉛、鉛、銅、高濃度のインジウムを含む、金銀および卑金属の浅熱水性・遷移性鉱脈が発見されています。また、同社が保有するシエラ・ブランカ（Sierra Blanca）鉱区では、ボーリング調査によって、採掘に適する品位の金および銀を含む浅熱水性鉱脈が見つかっています。ロリータ鉱区の西側に隣接するPatagonia Goldのエル・ガテアド（El Gateado）鉱区では、浅熱水性貴金属鉱脈をターゲットとした最初のボーリング調査によって、採掘に適する品位の金の鉱脈が見つかっています。

ロリータ鉱区では、探鉱、地質図の作成、地表の岩石のサンプリングの結果、熱水系構造が発見されました。発見された4つのゾーンは、**エスパルダ（Espalda）、コリータ（Colita）、パンツァ（Panza）、コラソン（Corazon）**と呼ばれています。

地表の岩石サンプルの地球化学分析からは、従来より貴金属鉱床のパスファインダー（探査指標）元素として用いられているアンチモン、ヒ素、水銀に関して、高濃度異常値が検出されました。

パンツァ・ゾーンとコリータ・ゾーンで行われた地上磁気探査からは、北東走向の大規模な交差構造が明らかになりました。これと関係する北西走向の構造には、金銀鉱脈と関連付けられることが多い熱水系構造と極めて異常なレベルの微量元素を含んでいることが分かっています。

コラソン・ゾーンでは、直径1.5 kmの高磁場のエリアと関係する北西走向の構造が、熱水系構造と極めて異常なレベルのヒ素を含んでいることが分かっています。

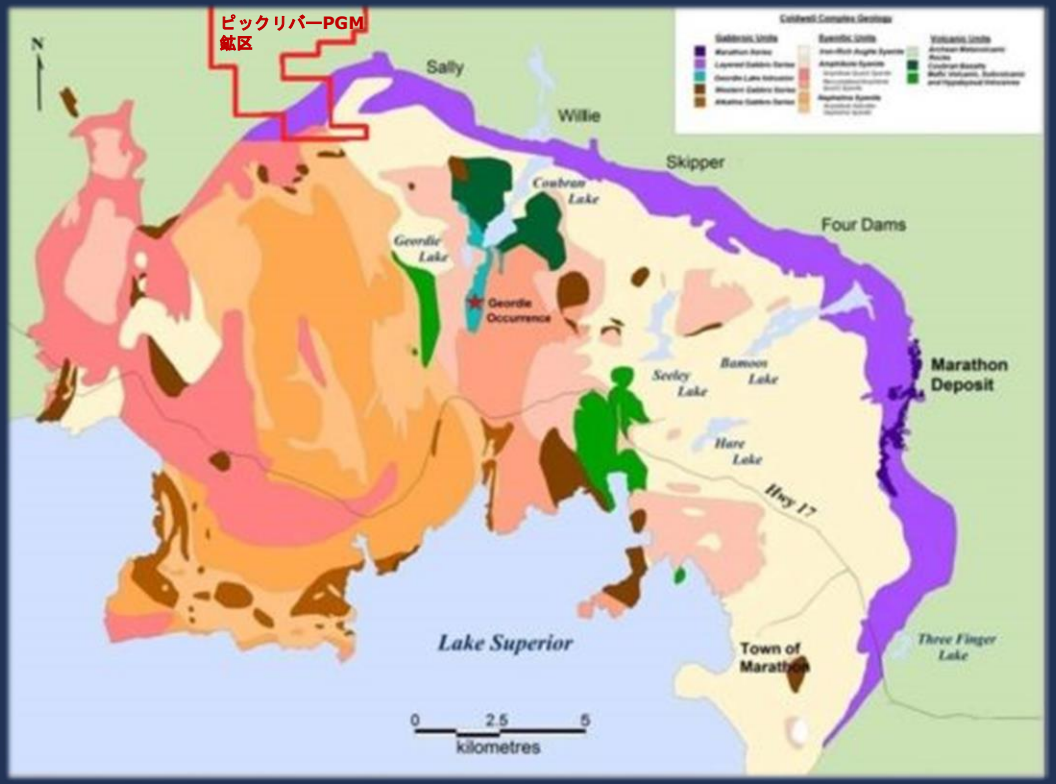


地上でのIP調査では、コラソン・ゾーンとパンツァ・ゾーンの既知の地質学／地球科学的ターゲットが確認できたほか、パンツァ・ゾーンにおいて新たなターゲットが示されました。**当社は今後、これらの有望なターゲットのボーリング調査を行うか、あるいは、オプション権保有者を取り込む形でプロジェクトをさらに推し進めていく予定です。**

ピックリバーPGMプロジェクト

TSX.V:PGC
FSE:4Y7

2020年初旬、当社は、**ピックリバー鉱区**について、Rudy Wahl博士とオプション契約を締結しました。
当社は、この白金族金属（PGM）プロジェクトの100%の権益を取得することができます。同プロジェクトは、マラソンの北西約50kmに位置し、Generation Mining Ltd.（トロント証券取引所：GENM）が所有する広大なマラソン鉱床に隣接しているサンダーベイ鉱区（Thunder Bay Mining District）内で進められています。



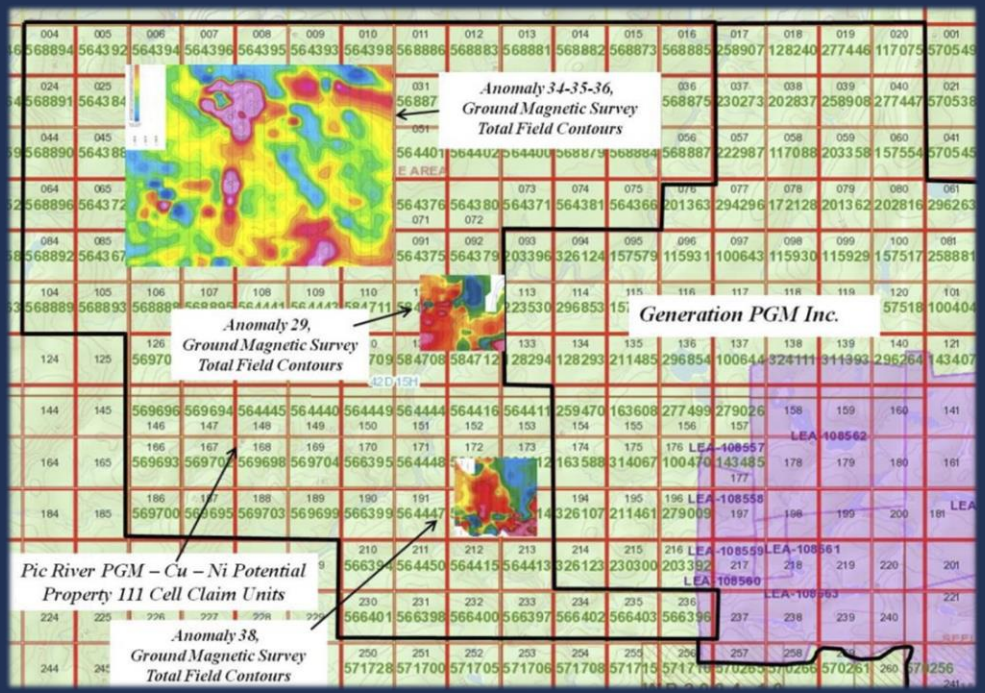
Generation Miningが所有するマラソン鉱床の資源埋蔵量は、現在確認されているだけで**870万オンス（パラジウム換算）**にのぼり、北米最大の未開発の白金族金属鉱物資源のひとつといえます。

2020年1月6日、Generation Miningは、予備的経済性評価書（PEA）を公表しました。同文書において、本パラジウム・プロジェクトの正味現在価値（NPV）は、8億7,100万カナダドル（割引率5%を加味）と見積もられています。

ピックリバーPGMプロジェクト

TSX.V:PGC
FSE:4Y7

ピックリバーPGMプロジェクトは、111の鉱区で構成され、総面積は2,247ヘクタールにおよびます。1993年当時に作成された地図に基づくと、白金族・銅とニッケルの鉱化帯を含む可能性が高い層状の斑糲岩系が、Generation Miningが保有するサリー（Sally）、ウィリー（Willie）、スキッパー（Skipper）、フォーダムズ（Four Dams）ゾーンおよびマラソン鉱床からピックリバー鉱区に向かって延びていると推測されています。



数年前に実施した地上磁気探査では、ピックリバー鉱区において広範囲の異常帯の発見に成功しました。

当社は、現在、最初の探鉱プログラム（2020／2021年冬開始予定）で掘削のターゲットとするボーリング調査候補箇所の検討を進めています。

同プログラムは、特定のゾーンの斑糲岩系におけるPGM鉱化帯の可能性を調査することを目的としたものです。

Rudolf Wahl博士について

カナダ探鉱者開発者協会（PDAC）「2020年ビル・デニス賞」受賞者

「探鉱者としての粘り強い忍耐力、そして、カナダ、オンタリオ州北西部において貴金属、ダイヤモンド、レアアースの存在を発見した功績に対して」

TSX.V:PGC
FSE:4Y7

ドイツ、ミンデン生まれ。8年間軍隊に所属し、軍用車両と戦車のメンテナンスを担当。1988年、カナダに移住。オンタリオ州レッドレイクのディケンソン金鉱山で機械整備場の監督者となり、鉱業界でのキャリアをスタートさせました。数年後には、ヘムロ近郊にあるBarrick Goldが保有するウイリアムズ鉱山の機械担当責任者となり、2005年には、同鉱山の操業における継続的な改善業務を担うマネージャーの地位に昇進しました。

同博士は、空いた時間を見つけては、鉱物資源を調査したり、新たな土地を探検しながら、カナダの原野に足を運んでいました。2008年、専業の探鉱者になることを決意。鍛錬を重ね、とどまることのない情熱によって、同博士は、素晴らしい実績を打ち立てることに成功しました。2015年には、マラソンの北西のプレイリーレイク・カーボナタイト複合岩体におけるリン酸ニオブ鉱化帯の発見によって、北西オンタリオ探鉱者協会の「バーニー・シュナイダー年間最優秀発見賞」を受賞するなど、数々の賞を受賞しています。

2017年5月、当社は、探鉱者である同博士より、受賞歴のあるグッドホープ・ニオブ・ディスカバリー鉱区のオプションを取得しました。**2019年、当社は、同鉱区の100%の権益を取得し、その後、グッドホープ・プロジェクトを立ち上げました。**

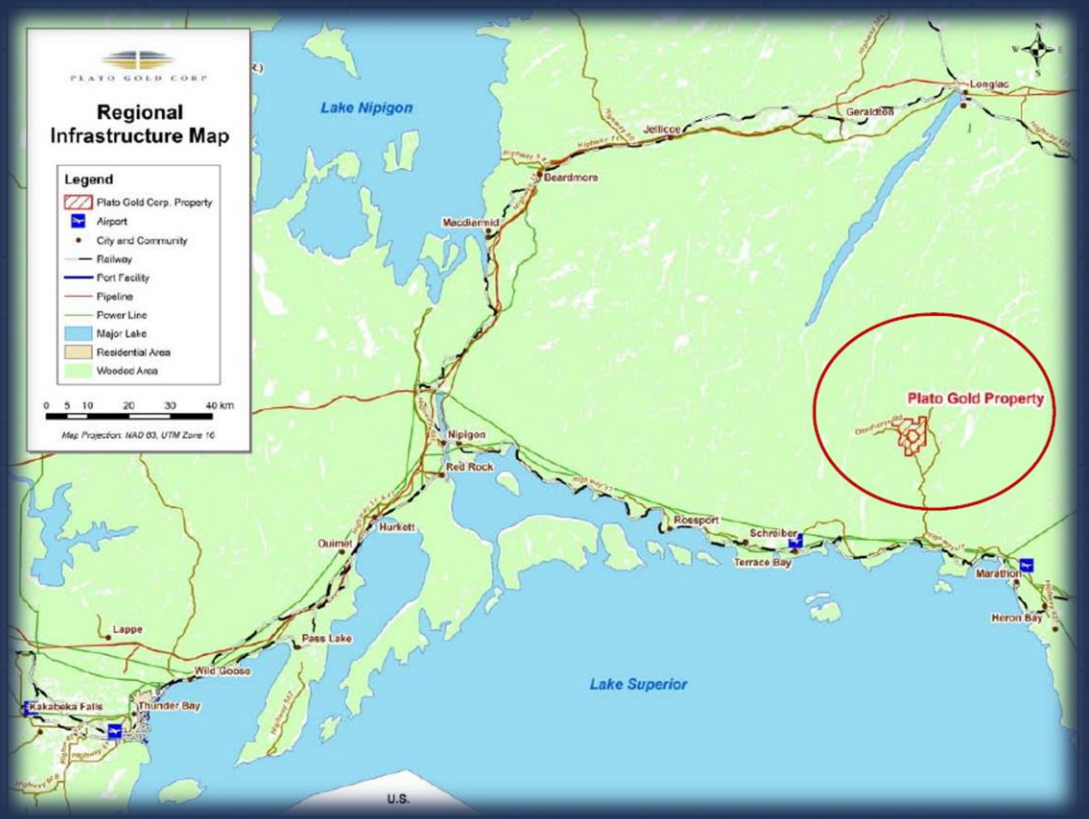
PDACで「2020年ビル・デニス賞」を受賞するRudy Wahl博士（2020年3月）

グッドホープ・ニオブ鉱区

（100%の権益を保有）

TSX.V:PGC
FSE:4Y7

グッドホープ・カーボナタイト鉱区は、254の鉱区で構成され、面積は約5,100ヘクタールにおよびます。鉱業の町、オンタリオ州マラソンの北西45km、ヘムロ金鉱山集落の北西70kmに位置しています。



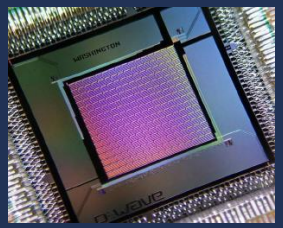
ニオブ：21世紀のテクノロジーに不可欠な金属

TSX.V:PGC
FSE:4Y7

Nb

- 現在、ニオブ（Nb）は、全世界で、ブラジルとカナダにある3カ所の鉱山でしか採掘されていません。
- 米国およびEUにおいてテクノロジーに不可欠な元素とみなされています。
- 大部分が合金で利用され、主な用途は、高強度低合金（**H**igh **S**trength **L**ow **A**lloy；**HSLA**）鋼です。

基幹技術において進められている近代的な革命の中に登場するニオブの新たな用途



量子コンピューティング
産業の次なるスーパーサイクルがコンピュータや通信技術、センサー等に革命をもたらしており、超電導ニオブ合金が求められています

電気自動車
次世代のリチウムイオン電池（東芝、2017年）にはチタンニオブ酸化物が必要です

航空宇宙産業、MRIスキャナー、Q&T鋼板
純粋なニオブ酸化物から作られたジェットタービン、超電導NbTi合金磁石、大きな衝撃や摩耗への耐久性が必要な用途に用いられるQ&T（焼入・焼戻）鋼板

ニオブ―鉄鋼をより強く、より軽くする

フェロニオブ（FeNb）市場

TSX.V:PGC
FSE:4Y7

高強度低合金（HSLA）鋼

- HSLA鋼は、従来の方法で製造された鉄鋼よりも軽くて強いのが特長です
- 多くの場合、生成された鉄鋼は、代替材を加える方法では製造できません
- 代替合金としてフェロバナジウムがありますが、同じ強度の鉄鋼の製造には2倍の材料が必要で、同等の重量削減は不可能です

建設およびメガプロジェクト（橋梁など）：45%

- 通常より高い強度や耐食性が求められる軽量構造に用いられるHSLA
- 高強度鉄筋には高降伏強度と溶接性が必要
- 橋梁等のメガプロジェクトに必要な鉄鋼量の大幅な重量削減を実現
  輸送コストや関連コストも削減！

自動車産業：23%

- 車体をより強く、より軽くする―重量削減により燃費が向上、自動車利用者の安全性も向上
- 9米ドル分のニオブを加えるだけで中型車の重量が100kg削減され、燃費が5%向上（出典：世界鉄鋼協会）

フランスのミヨー高架橋は、ニオブを0.025%含む鉄鋼を用いて建設されました。その結果、鉄鋼とコンクリートの重量が60%減少しました。
出典：CBMM

ニオブ―鉄鋼をより強く、より軽くする

フェロニオブ（FeNb）市場

TSX.V:PGC
FSE:4Y7

石油ガス・パイプライン：16%

- 長距離にわたって圧力や体積の増加に耐える優れた性能

→ ニオブに代わるものはありません

造船：6%

- HSLAによって船舶の重量が削減できるため、燃料消費量が減少します―強度と溶接性が向上

ステンレス鋼：3%

- Nbによって腐食が減り、高温挙動が向上します

超合金およびQ&T（焼入・焼戻）鋼板：3%

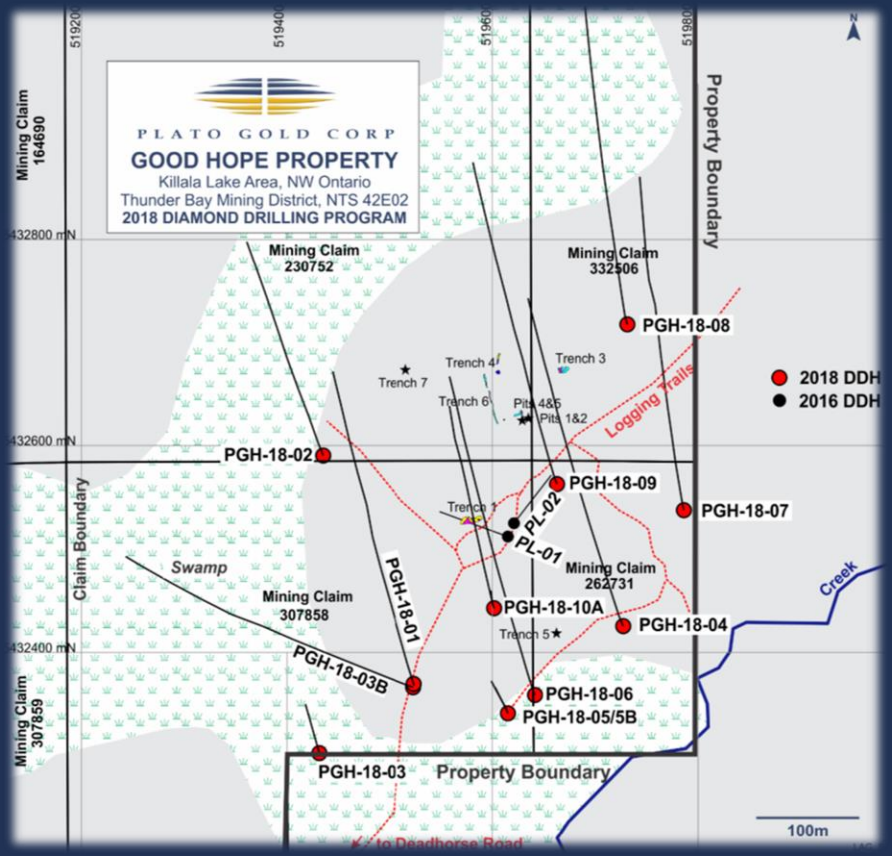
- 航空宇宙産業での利用（純粋なニオブ酸化物から作られたジェットタービン）
- MRI装置（純粋なニオブ酸化物から作られた超電導NbTi合金磁石）
- 機械類の高耐久性部品に用いられるQ&T鋼板

フェロニオブの価格の推移

TSX.V:PGC
FSE:4Y7

グッドホープ・ニオブ鉱区

TSX.V:PGC
FSE:4Y7



- **Rudy Wahl博士は、高品位のニオブ鉱化帯をグッドホープで発見した最初の人物です。**2010年、**ディスカバリーサイト#28**の小規模な露頭で1.63%のNb2O5を見つけました。

- 2016年、空中放射測定の異常値をターゲットにして、#28の近くにダイヤモンドドリルで2つの孔が掘削されました。孔（PL-01）からは0.45% Nb2O5および6.25%五酸化リン（P2O5）（幅1.0m）の部分が、孔（PL-02）からは0.34% Nb2O5および5.81% P2O5（幅1.0m）の部分が見つかりました。

- 2018年9月19日、当社は、5,016mにおよぶ大規模なダイヤモンドドリル・プログラムの分析結果を公表しました。同プログラムでは、鉱化帯を調べるために、9つのボーリング孔を垂直深さ285～580mまで掘削しました。**その結果、全ての孔において、母岩にあたる閃長岩および石英閃長岩を主体とする角礫岩化した系の中に、大規模なカーボナタイト帯が見つかりました。**

- 2018年のドリル・プログラムで収集されたボーリング孔のコアサンプルの分析結果のうち、最大値は、大規模なカーボナタイト帯の中にあった0.950% Nb2O5および6.20% P2O5（幅1.1m）の部分でした（PGH-18-06）。断面部分の幅が最も広い2箇所は、0.190% Nb2O5および2.04% P2O5（幅93.08m）（PGH-18-06）と0.175% Nb2O5および2.03% P2O5（幅89.24m）（PGH-18-10A）でした。

- 上記の通り、ボーリング調査結果が良好であったこと、すなわち、**全ての孔において地表から垂直深さ約500mまで大規模なカーボナタイト断面が見つかったこと**を踏まえ、**当社の地質学者は、ニオブ鉱床が存在する可能性が大きいと見ています。**

グッドホープ・ニオブ鉱区

TSX.V:PGC
FSE:4Y7

- レイクヘッド大学のRoger Mitchell博士は、**グッドホープにおけるニオブの母岩であるカーボナタイトに関して世界をリードしている専門家**のひとりです。博士は、当社のために、直近のドリル・プログラムで収集された様々なコアサンプルを用いて、岩石学的研究を行っています。

- Mitchell博士によると、グッドホープのカーボナタイト岩体に含まれる鉱石鉱物はパイロクロアで、ニオブを産出する他の全てのカーボナタイトと共通しています。

- 博士は、これらのパイロクロアが高密度で高粗粒であることを確認しており、これは酸可溶性の包有物と母岩のカーボナタイトに関連しています。そうした地質学的特徴は、鉱石選鉱工程を簡素化する上で非常に望ましいと考えられます。

- パイロクロアは、100ミクロンから1mmまでの様々なサイズのものが含まれています。結晶の中には、最大5mmにもなるものもありますが、大部分は自形で比較的均一な組成となっています。包有物がある場合は、アパタイトや多様な炭酸塩です。

- Mitchell博士は、現在評価が行われている世界中のその他のカーボナタイトと比較した上で、鉱物学的に非常に望ましい結果が得られていることから、グッドホープにニオブ鉱床が存在する可能性が高いと結論付けています。

PGH-18-10A、深さ約387.3m
2018年に実施したボーリング調査のコアサンプルに含まれる粗粒の**アパタイト（燐灰石）**内に存在する**パイロクロア**（黒い部分）
（コアおよび写真、HQコアの直径=63.5mm）

株式構成（2021年1月14日現在）

TSX.V:PGC
FSE:4Y7

発行済株式：	208,919,717
完全希薄化後：	224,049,717
取締役および役員の持分：	29.3%
株価（カナダドル）：	0.03
52週間の価格変動幅（カナダドル）：	0.02 – 0.05
時価総額（カナダドル）：	627 万

投資家向け情報

TSX.V:PGC
FSE:4Y7

詳しくは、下記にお問い合わせください。

Anthony Cohen
社長兼最高経営責任者
電話（オフィス）：416-968-0608
携帯電話：416-948-8427
ファックス：416-968-3339
電子メール：info@platogold.com
www.platogold.com

Plato Gold Corp.
電話：416-968-0608
所在地：
1240 Bay Street, Suite 800
Toronto ON M5R 2A7